

1. 件名：関西電力株式会社美浜発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日時：令和5年8月22日（火）14時00分～17時35分

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、反町専門職、嶋崎専門官、澤村専門官、沼田専門職、酒井専門職

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他4名

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備防災グループ 副主任 他2名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ 副長 他2名

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ 副リーダー 他2名

原子力エネルギー協議会

副長

5. 要旨

関西電力株式会社から、令和5年9月22日に予定されている同社美浜発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・今年度訓練の目的及び達成目標
- ・主な検証項目
- ・実施体制及び評価体制
- ・訓練の項目と内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・訓練シナリオ

原子力規制庁及び事業者間ピアレビューを行う日本原子力発電株式会社（以下「日本原電」という。）・中国電力株式会社・四国電力株式会社から以下についてコメントし、関西電力株式会社から本日の面談を踏まえ対応する旨の回答があった。

- ・ERCプラント班役は、日本原電本店即応センターにおいて模擬する

計画となっているが、必要あれば原子力規制庁ERCを使用することもやぶさかではない。また、統原防ネットワークTV会議の接続操作をERC側で支援することも可能である。

- ・ 模擬ERCにおけるERCコントローラー兼リエゾン（資料印刷・配布）の体制に関し、必要ならば日本原電側が資料印刷・配布の役割は支援可能であるので、検討すること。また、FAX着信確認の電話対応についても体制の設計に考慮すること。
- ・ 課題であったCOP発行時のトラブルに対する改善策について、その改善策が機能したかどうか検証できるよう、以前そのトラブルが発生した際と同じ状況を作為すること。

6. その他

配布資料：

- 資料 1 美浜原子力防災訓練計画事前説明に係る面談（5週間前）時の確認事項（関西電力株式会社）